

F U K U O K A C I T Y K A W A Z O E B A L L E T

福岡シティ川副バレエ学苑

# 創立60周年記念公演 第97回 公演

祝 奉 五穀豊穰

## La Sylphide

Program

踊る絵本(II)

パキータ

ラ・シルフィード[全幕]

ゲスト

オクサーナ・シェスタコワ

〈元レニングラード国立バレエ団〉

ドミトリー・シャドルーヒン

〈元レニングラード国立バレエ団〉

マシモ・アクリ アオ・チャン

窪田 央 新垣 拓 他



ドミトリー・シャドルーヒン



オクサーナ・シェスタコワ

構成・演出・振付/ 檜柴躬生子

バレエミストレス/ 古賀由美子

舞台監督/ 横井 政行

照明/ 佐藤 勝朋

音響/ 相良 顕正



2012.12/9 開場 p.m.3:15 開演 p.m.4:00 福岡サンパレス ホテル&ホール TICKET・¥5,000(全自由席)

主催: 福岡シティ川副バレエ学苑 後援: 福岡県・福岡県教育委員会・福岡市・福岡市教育委員会・(財)福岡市文化芸術振興財団・西日本新聞社・RKB毎日放送・TNCテレビ西日本・福岡文化連盟  
お問い合わせ: 福岡シティ川副バレエ学苑 TEL092-781-6710 ホームページ: <http://www.kawazoe-ballet.jp/> 川副バレエ 検索



福岡シティ川副バレエ学苑第97回公演  
**創立60周年記念公演**

FUKUOKA CITY KAWAZOE BALLET

「ラ・シルフィード」「パキータ」解説

**ラ・シルフィード** 音楽/ヘルマン・ロヴェンショルド 振付/オーギュスト・ブルノンヴィル

原作はフランスの幻想作家シャルル・ノディエ。この作品は、イタリア人振付家フィリップ・タリオーニが娘のマリーの為に創作しました。初演は1832年のパリでした。

「ラ・シルフィード」は当時すでに開発されていましたが、まだ十分使いこなされていなかったトゥシューズでの爪先立ち(ポアント)の技術を芸術的に取り入れた最初の作品となりました。重力を全く感じさせず、床を滑るように舞うことができるポアントの技はシルフィード(空気の精)の表現にピッタリでした。そして白いロマンティック・チュチュの衣裳を着てトゥシューズで立つシルフィードはバレリーナのシンボルになりました。

パリでこの初演を見ていたデンマーク人のオーギュスト・ブルノンヴィルはデンマークで上演したいと思いましたが、著作権の問題がからんで実現出来ませんでした。それでも彼はあきらめずに音楽を同じデンマーク人のヘルマン・ロヴェンショルドに依頼して自分で振付をして1836年デンマーク王立劇場で初演しました。本家のタリオーニ版はだんだん衰退してきましたが、ブルノンヴィル版は現在でも世界中で踊られています。

**パキータ** 音楽/レオン・ミンクス 原振付/マリウス・フティパ

スペインのジプシー娘がフランスの貴族に恋をしますが、社会的地位の違いで、彼との結婚がうまくいかないという話でストーリーはたいへん込み入ってます。

ジプシー達と地方総督がフランスの統治から逃れる為の陰謀をすすめている最中にジプシー娘は実は、自分が貴族の出であったということを知り結局はめでたしめでたしで終わります。現在では物語とは関係なく、一幕物のグラン・パとして主役2人のパ・ド・ドゥと数々のディベルティスマンで構成された華やかな作品として世界中のバレエ団の主要な演目となっています。



2006年12月 福岡シティ川副バレエ学苑 第88回公演「パキータ」より

**福岡シティ川副バレエ学苑**

〒810-0023 福岡市中央区警固3丁目1-4 (KKRホテル博多斜め向い)  
 TEL (092) 781-6710 FAX (092) 781-0011  
 ホームページ : <http://www.kawazoe-ballet.jp/>

分苑 折尾教室  
 折尾教室水巻クラス

